

N P O 法人神奈川県日本ユーラシア協会 DVD 上映会

「シベリヤ物語」



清らかなロシア民謡の魅惑は
うたごえ喫茶のルーツに。
終戦直後の混乱した日本に
安らぎを与えて大ヒットした
音楽映画の名作を再び！



心に残る名曲の数々が
完全な美しさで蘇る！
旧ソ連政府にカット
されたシーン 14 か所、
合計約 13 分も完全復元！



アトラクション

神奈川県合唱団有志が
ロシア語で歌う挿入歌
「バイカル湖のほとり」
もお楽しみに！



2014年 3月23日(日) 14:00

横浜平和と労働会館 3階会議室

横浜市中区桜木町3-9 (JR 桜木町駅より徒歩 5 分)

【参加費】 会員 500 円、一般 700 円

※お茶代として (紅茶・黒パン付き)

【主催・お申し込み・お問い合わせ先】

NPO法人神奈川県日本ユーラシア協会事務局

Tel/Fax: 045-201-3714

E-mail: eurask2@hotmail.co.jp

【当日連絡先】 Tel : 080-6700-5301 (関戸)

監督・原作：イワン・ピリエフ

出演：ウラジーミル・ドルージニコフ、マリーナ・ラディーニナ

1947年・モスフィルム (ソ連) 製作。1時間 40分。

■ 映画「シベリヤ物語」あらすじ

第2次大戦末期。ピアニストのアンドレイ中尉はベルリン攻撃の前夜、ピアニストの生命とも云うべき手首に負傷した。終戦後復員すると、ライバルのボリスはピアニストとして、恋人ナターシャはソプラノ歌手としてすでに名声を得ていた。アンドレイは希望を失い、生れ故郷のシベリアの奥地に向う。折しも戦後の復興が盛んな故郷で、アンドレイは労働に励む人々の素朴な歌声を聞き、民衆のなかに息づく音楽を知り、いつしか心を癒していった。そんなある日、偶然にも飛行機が不時着してこの地に逗留したナターシャはアンドレイと再会する。そして以前にも増して燃えあがる愛の炎。数年後、アンドレイの音楽や愛についての自らの煩悶はオラトリオ「シベリヤ物語」として結実する一。